



東北地方における縄文後・晚期の低湿地遺跡

小久保 拓也（八戸市教育委員会）

低湿地遺跡とその立地 「低湿地」とは、沖積平野などの低地に形成された湿地を指し、「低湿地遺跡」とは、主要遺構そのものが低湿地内部の微高地や帶水域に存在する場合、特にその遺跡を指す（那須・市原1979）と提案されているが、現状では遺跡の沢などの一部分を指して「低湿地遺跡」や「泥炭層遺跡」と包括的に呼称している場合が多い。東北地方の縄文後・晚期では13遺跡が確認されているが、いずれも相対的な低地ではなく、湿潤な環境に遺構・遺物が検出された「低湿地遺跡」と捉えられており、「低湿地集落」は発見されていない。

発見される遺構と遺物 埋没してからの遺跡の環境変化は地下水などにより非常に緩やかであり、ほとんどの遺跡で検出される「捨て場」からは、大量の土器とともに植物質の遺物や食料残滓が良好な状態で発見されている。また、土壤には昆虫や種実・花粉などが保存されているため、植生を含めた遺跡環境を考えることができる。生業に関連する遺構としては、是川中居（青森）・柏子所・上谷地（秋田）・高瀬山（山形）から水さらし場遺構が検出されており、森内（岩手）からは漁撈施設と考えられるエリ状遺構のほか、階段状の木組み遺構、足跡などが検出されている。

東北地方の低湿地遺跡に見られる生業活動 是川中居・山王囲（宮城）・荒屋敷（秋田）では植物珪酸体分析や種実分析を行っている。是川中居の分析では栽培種の可能性があるゴボウやヒエを検出しているが、いずれも量では堅果類には遠く及ばない。東北地方で近年発見が相次いでいる水さらし場遺構はトチのアカ抜き施設であり、施設を使いトチを大量に処理していたことを示している。以上の点から東北地方においては縄文時代の生業の核である狩猟・漁撈・採集活動への重点の置き方は大きく、後・晚期での栽培や農耕への変化は少なかったようである。

是川中居遺跡 是川中居は低湿地調査の先駆けとなった遺跡であり、近年、史跡整備に向けて本格的な調査が行われている。「特殊泥炭層」があるとされていた地点は沢地形であり、捨て場が形成されていることが明らかになった。また、沢を埋めているのは泥炭層ではなく食料残滓などによる植物遺体屑層であり、捨て場からはヤス軸3本・弓・掘り棒の5本が束ねられた状態で出土したほか、建築部材や樹皮製の大型漆塗り容器などが見つかっている。その下の砂層からは、水さらし場など多用途の木組み遺構を検出した。さらに遺構下部から板材と礫が出土しており、作り替えをしていたと考えられる。

低湿地遺跡の保存・活用 花粉・種子分析を含め、生業の復元という視点での調査は不十分であり、今後も同様の調査が継続していく必要がある。また、出土する木・樹皮・蔓を材料とした植物質遺物は新発見のものが多く、土器・石器を中心に想定されていた生業活動を大きく補強するものである。栽培・農耕への変化だけに捉われず、新発見の植物質遺物と合わせて生業活動の検討をしていく必要がある。低湿地遺跡の調査は特別な方法や費用が必要であり、相当の準備が必要である。さらに史跡整備では貴重な情報を持っている低湿地遺跡の水源などを含めた環境調査を行い保存していく必要があるが、同時に教育普及の要望にどう答えるかが課題となっている。また植物質遺物の保存処理は永久なものではなく、処理後は継続的な経過観察が必要であり、処理・保管過程などを記したカルテ作成が望ましい。

《参考文献》那須孝悌・市原壽文 1979 「「低湿地遺跡」および関連する用語の定義について」 考古学研究119

是川中居遺跡(青森県)



図1 是川中居遺跡D区連続試料採取位置

D区の種実分析について
D区ではクルミ・トチ・ヤマグワ・ニワトコなどが目立つが、ヒエは非常に少ない。クリは花粉のみ大量に検出している。
遺跡北側の長田沢1区（晩期中葉）からイネ穂が2点検出されているが、検出した土層は、地すべりによる不整合を示す部分があり、弥生時代以降の堆積層と考えている。

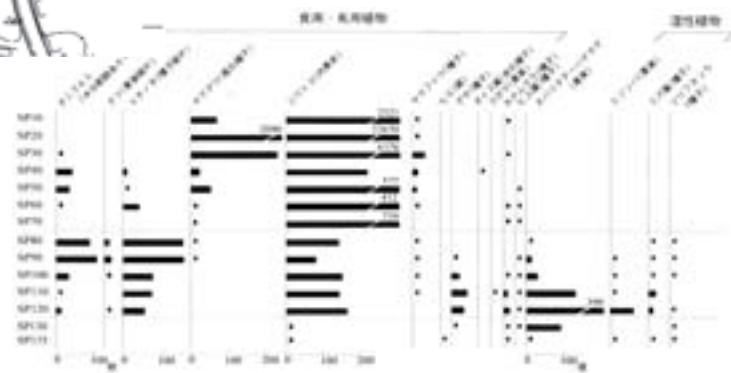
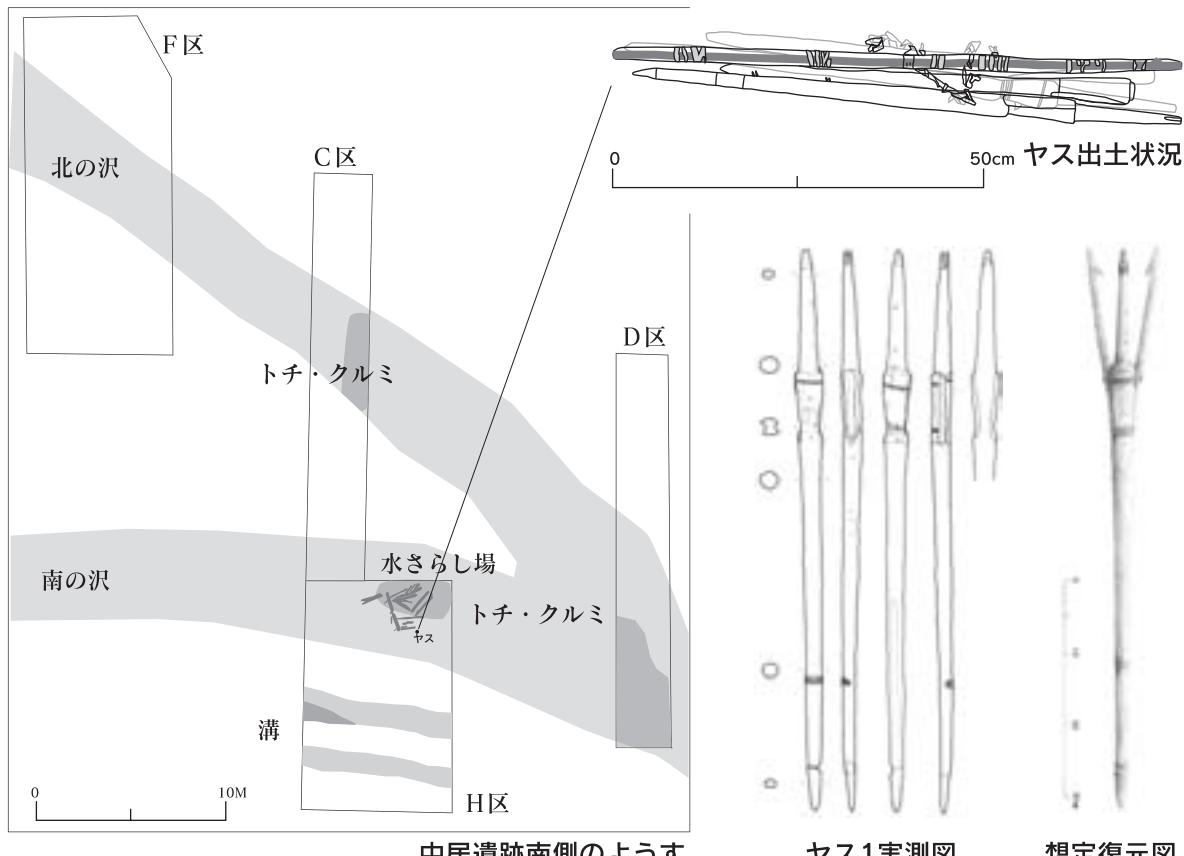
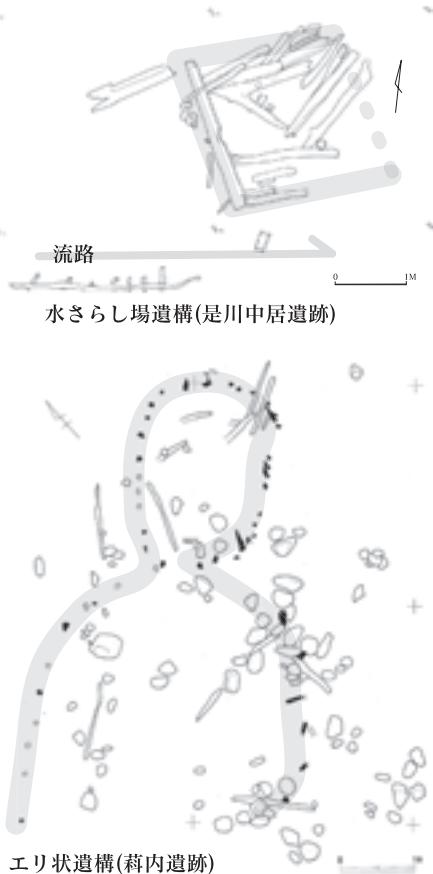


図2 是川中居遺跡D区の主要大型植物化石変遷図
(表示個数は12.5リットル中に含まれていた種子総数、黒丸印は10個未満)





	カナ	所在地	立地	時期	検出遺構	出土遺物	自然化学分析
1	ヤハタザキ	青森県南津軽郡尾上町八幡崎宮本	平川水系、猿賀低台地西端	晩期前半	捨て場	漆塗り飾り櫛、藍胎漆器、竹製品、木製品、クリ、クルミ、トチ	
2	ドイイチゴウ	青森県北津軽郡板柳町	岩木川水系、中流右岸の自然堤防上と接する湿地帯	後期～晩期	捨て場	藍胎漆器、飾櫛、腕輪、大形岩偶	
3	イシゴウ	青森県南津軽郡平賀町石郷	平川水系、扇状地	後期末～晩期初頭	捨て場	四脚付土器、織布漆器、木製品	樹種
4	カメガオカ	青森県西津軽郡木造町亀ヶ岡	岩木川水系、台地先端部	晩期	捨て場	漆塗り土器、彩文土器、藍胎漆器、櫛、編布	花粉、樹種
5	コレカワナカイ	青森県八戸市是川字中居	新井田川右岸の河岸段丘	晩期	捨て場、水さらし場	木胎漆器、藍胎漆器、木製品、樹皮製容器、編布、紐、漆塗り土器、弓、櫛、腕輪、籠形木製品、飾り太刀	AMS、花粉、種実、樹種、胎土、漆塗膜
6	シダナイ	岩手県盛岡市繫字舘内川原、上野地内	靈石川右岸、自然堤防の後背湿地(L面)	後期・晩期	捨て場、工り、洗い場、足跡、階段状杭列	木機、漆器、弓、櫛、砧状木製品、墨標状木製品、トーテムポール状木製品、割材_丸木杭	樹種
7	カシコトコロ	秋田県能代市柏子所	台地先端部と崩落によって形成された平坦面と開析谷	後期	水さらし場	加工材、トチなど	
8	カミヤチ	秋田県本庄市	台地先端部と直下の低地	後期前葉	水さらし場	加工材、トチなど	
9	トヒラカワ	秋田県秋田市添川字戸平川	旭川左岸(羽黒山丘陵)、旭川低地に接している	後期	捨て場	編物、曲物容器、木製品	漆塗膜構造分析、脂肪分析、AMS、樹種同定、胎土分析、黒曜石産地同定、玉類石材分析
10	ナカヤマ	秋田県五城目市		晩期	捨て場	編布	
11	タカセヤマ	山形県寒河江市	最上川左岸の小丘陵と河岸段丘上、低位段丘は自然堤防の後背湿地	後期中葉 晩期前葉	水さらし場 (木組み遺構、石組み遺構)	加工材、トチなど	AMS
12	サンノウカコイ	宮城県栗原郡一迫町真坂山王塙、道溝	長崎川北岸の自然堤防上	晩期	捨て場	編布	花粉、樹種
13	アラヤシキ	福島県大沼郡三島町	只見川右岸の河岸段丘、扇状地の緩斜面	晩期	捨て場	編布	黒曜石産地、樹種、種子